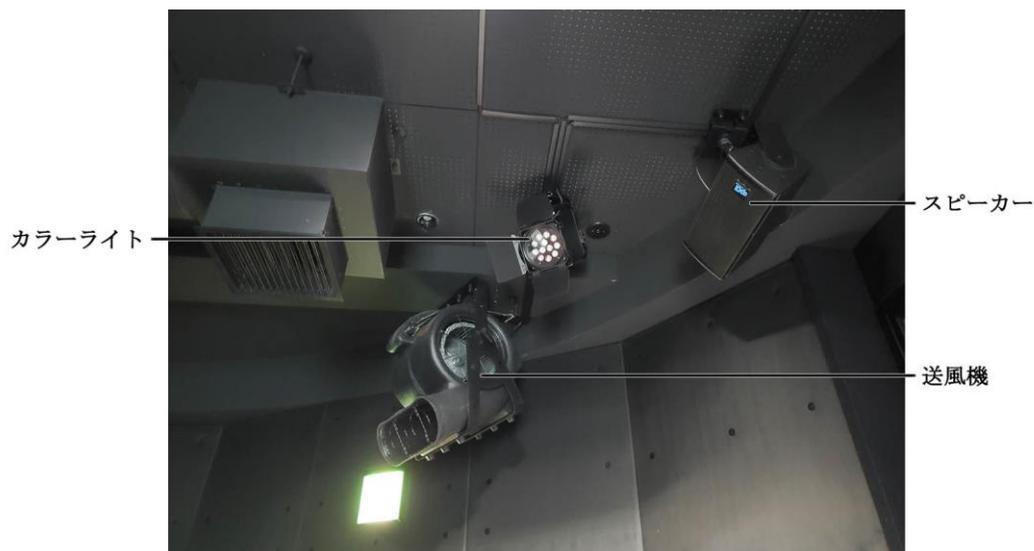


各展示施設の日常点検及びメンテナンス

■ 災害バーチャル体験コーナー

1 日常点検

- (1) 音声や映像が正常であること。
- (2) AV 設備のマイクやスピーカーの音量調節、プロジェクターの位置やインジケーター等の確認をする。
- (3) ストロボやカラーライト、通訳者照明、送風機に異常がないこと。



- (4) 座席の手すり等のがたつきがないこと。
- (5) 3D メガネに異常がないこと。
- (6) 天井等ランプ切れがないこと。

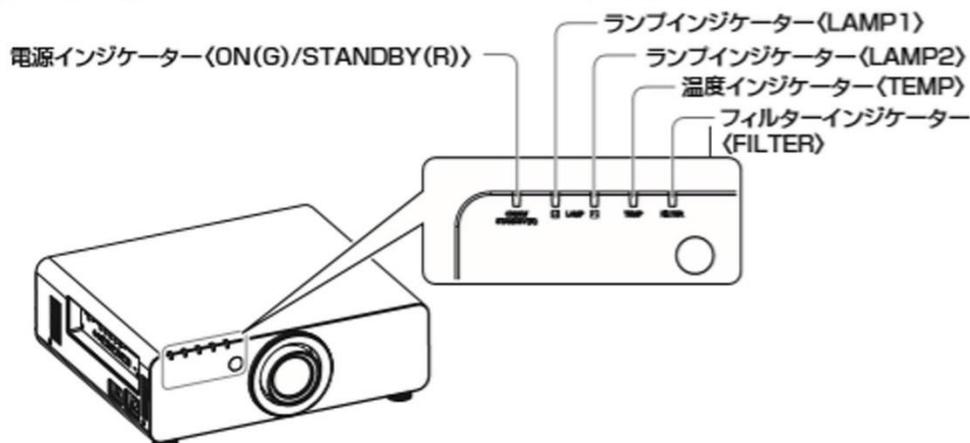
2 メンテナンス

(1) プロジェクター

① インジケータを確認する。

お願い

- 処置を行う際に電源を切るときは、「電源を切る」(☞ 38 ページ) の手順を必ずお守りください。
- 電源の状態は、電源インジケータ (ON (G) /STANDBY (R)) で確認してください。(☞ 37 ページ)



ランプインジケータ (LAMP1) / (LAMP2)

点灯状況	赤色点灯	赤色点滅 (1回)	赤色点滅 (3回)
状態	ランプユニットの交換時期を表示している	ランプユニットが装着されていない	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している
お調べください	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源を入れたときに「ランプを交換してください。」という表示が出ませんでしたか。 • ランプユニットの使用時間が2300時間 (ランプパワー) を「ノーマル」に設定時に達すると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> • ランプユニットが装着されていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。 • ランプ回路に異常が発生しています。電源電圧が変動 (低下) していませんか。
処置方法	<ul style="list-style-type: none"> • ランプユニットを交換してください。 	<ul style="list-style-type: none"> • ランプユニットが装着されていない場合は、ランプユニットを装着してください。 • ランプユニットが装着されているのに赤色点滅をしている場合は、販売店にご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> • 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 • 主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にして (☞ 38 ページ)、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 上記の処置をしてもランプインジケータ (LAMP1) / (LAMP2) が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

(引用元：プロジェクター「PT-DZ680」 取扱説明書 P105)

温度インジケータ (TEMP)

点灯状況	赤色点灯		赤色点滅 (1回)	赤色点滅 (3回)
状態	ウォームアップ状態	内部が高温になっている (警告)	内部が高温になっている (スタンバイ状態)	ファンが止まっている
お調べください	• 気温が低い (0℃付近) 状態で電源を入れませんでしたか。	• 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。 • 気温の高い所で使用していませんか。 • フィルターインジケータ (FILTER) が点灯していませんか。		—
処置方法	• このままの状態でも5分ほどお待ちください。 • 周囲温度 0℃~45℃* の場所に設置してください。	• 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 • 周囲温度 0℃~45℃*、周囲湿度 20%~80% (非結露) の場所に設置してください。 • エアフィルターユニットのお手入れ、または交換をしてください。(☞ 107、108ページ)		• 主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にして (☞ 38ページ)、販売店にご相談ください。

* 高地 (海拔 1400 m ~ 2700 m) で使用する場合は、使用環境温度の上限は5℃低くなります。

お知らせ

- 上記の処置をしても温度インジケータ (TEMP) が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

フィルターインジケータ (FILTER)

点灯状況	赤色点灯		赤色点滅
状態	フィルターが目づまりしている あるいは、周囲または内部が異常に高温になっている		エアフィルターユニットが 装着されていない
お調べください	• エアフィルターユニットが汚れていませんか。	• 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。	• [高地モード] が正しく設定されていますか。
処置方法	• エアフィルターユニットのお手入れ、または交換をしてください。(☞ 107、108ページ)	• 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。	• エアフィルターユニットを装着してください。 • 海拔 1400 m 以上 ~ 2700 m 未満で使用する場合は、[高地モード] (☞ 71ページ) を [オン] に設定してください。 • 海拔 2700 m 以上の場所では使用しないでください。

お知らせ

- 上記の処置をしてもフィルターインジケータ (FILTER) が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 電源を入れたときに、エアフィルターユニットが装着されていない場合、フィルターインジケータ (FILTER) が赤色点滅し、10分後に電源が切れます。
- フィルターが目づまりすると、[ランプ選択] を [デュアル] に設定していても、ランプ1灯のみの点灯状態になることがあります。エアフィルターユニットのお手入れをするか、新しいエアフィルターユニットに交換すると解除されます。

(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P106)

② ランプを交換する。

ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。メニューの「プロジェクターセットアップ」→「ステータス」(☞ 76 ページ)でランプの使用時間を確認し、定期的に変換してください。

ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

交換用ランプユニット (品番: ET-LAD60A (1 灯)、ET-LAD60AW (2 灯)) をご購入の際は、販売店にご相談ください。

 **警告**


ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う
カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

ランプユニットの交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当たり落下させたりすると破損する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ランプは破損することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また、本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お願い

- 必ず、指定のランプユニットを使用してください。

お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にとまらぬ、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 500 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 500 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。2 500 時間を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因となるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプインジケータ
		
2 300 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。(該当のランプのみ点灯)
2 500 時間以降	いずれかのボタンを押すまで、メッセージは表示されたまます。	

お知らせ

- 2 500 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については「保証とアフターサービス」をご覧ください。

ランプユニットの交換手順

お願い

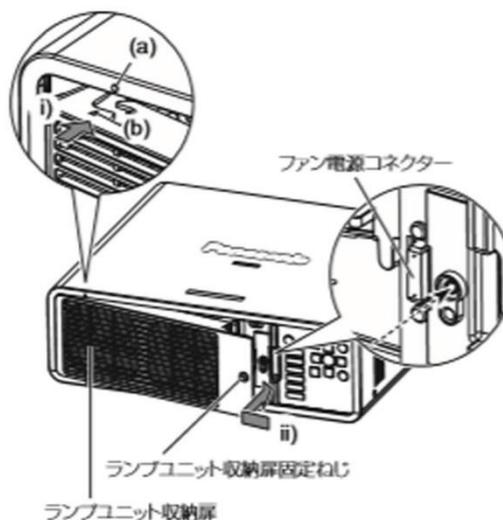
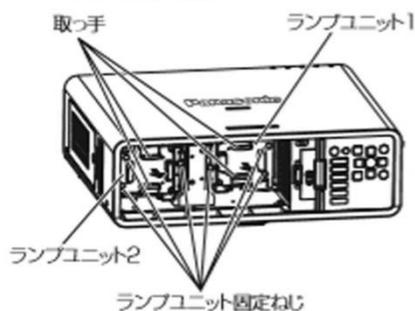
- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業しないでください。
- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、いったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクタ一部分が破損する場合があります。

(引用元: プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P109)

- 1) “電源を切る” (☞ 38 ページ) の手順を守り、主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にしたあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する
- 2) ランプユニット収納扉を取り外す
 - i) ランプユニット収納扉固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニット収納扉を矢印方向に開きます。
 - ii) ランプユニット収納扉をしっかりと保持し、操作ボタン側にスライドさせた後、セット後方に引き出し取り外します。
- 4) 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む
- 5) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
- 6) ランプユニット収納扉を取り付ける
 - i) ランプユニット収納扉を、(a) と (b) の印 (○と△) を合わせて取り付けます。
 - ii) ランプユニット収納扉を矢印のようにスライドさせ前方にはめ込んだ後、ランプユニット収納扉固定ねじでしっかりと締めつけます。
 - ファン電源コネクタにランプユニット収納扉側のコネクタがしっかりと差し込まれるように取り付けてください。



- 3) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーで外し、取っ手をつまんでランプユニットを取り出す



お知らせ

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの使用時間が自動的にリセットされます。

(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P110)

③ フィルターを清掃・交換する。

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行うときは、必ず電源を切ってください。(☞ 36、38 ページ)
- 電源を切るときは、“電源を切る”(☞ 38 ページ)の手順を必ずお守りください。

お手入れ**外装ケース**

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

- レンズはガラス部品です。堅いものに当たり、強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

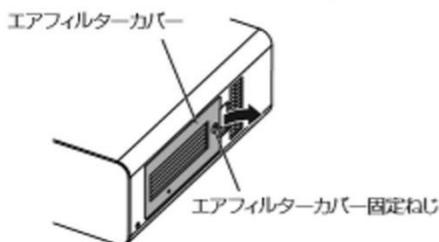
エアフィルターユニット

次の場合はエアフィルターユニットのお手入れを行ってください。

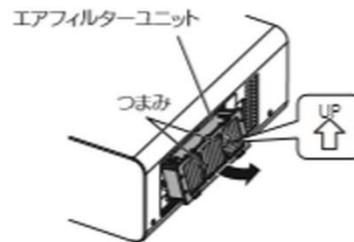
- エアフィルターがほこりなどによって目づまりし、画面上に交換メッセージが表示され、フィルターインジケーター (FILTER) が赤色点灯をした場合。

エアフィルターユニットの取り外しかた**1) エアフィルターカバーを外す**

- プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを反時計方向に空回りするまで回して、取り外してください。

**2) エアフィルターユニットを取り出す**

- エアフィルターユニットのつまみを持ち、プロジェクター本体からエアフィルターユニットを引き出してください。

**お願い**

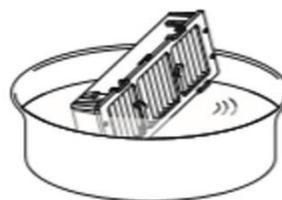
- エアフィルターユニットを取り出したあとに、エアフィルターユニット収納部及び本体側吸気口に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

エアフィルターユニットのお手入れのしかた

あらかじめ前述の“エアフィルターユニットの取り外しかた”の手順でエアフィルターユニットを取り外します。

1) エアフィルターユニットを洗淨する

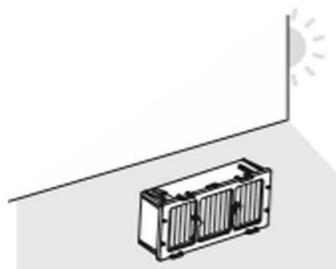
- エアフィルターユニットを、水またはぬるま湯につけ、軽くゆすぎます。
 - ブラシなどの洗浄器具は使用しないでください。
 - ゆすぐ際は、エアフィルターユニットの枠を持ち、フィルター部に強い力をかけないようにしてください。
- 2～3回、新しい水ですすぎ洗いをします。
 - すすぎが不十分だとおおいの原因になります。



(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P107)

2) エアフィルターユニットを乾燥させる

- ほこりが少なく、直射日光の当たらない風通しの良い所で自然乾燥させます。
- ドライヤーなどの乾燥器具を用いて乾燥させないでください。
- エアフィルターユニットが乾燥したら、「エアフィルターユニットの取り付けかた」(☞ 108 ページ)の手順に進んでください。



エアフィルターユニットの取り付けかた

1) エアフィルターユニットをプロジェクター本体に取り付ける

- エアフィルターユニットには、上下方向の区別があります。(矢印(右)方向を確認してください)
- 「エアフィルターユニットの取り外しかた」(☞ 107 ページ)の手順 2) と逆の手順で取り付けてください。

2) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付けて、プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを締めつける

- 「エアフィルターユニットの取り外しかた」(☞ 107 ページ)の手順 1) と逆の手順で取り付けてください。

お願い

- エアフィルターユニットを洗浄した際は、十分に乾燥させてから本体に取り付けてください。ぬれたまま取り付けると、感電や故障の原因になります。
- エアフィルターユニットを分解しないでください。

お知らせ

- エアフィルターユニットは必ず正しく取り付けでご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。(電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。)
- エアフィルターユニットを破損した場合や洗っても汚れが目立つ場合は、新しい交換用フィルターユニット (品番:ET-EMF300) に交換してください。
- 洗浄によるリサイクルは 2 回を目安に新品と交換することをお勧めします。
- 洗浄後のフィルターの性能は、初期に比べて低下することがあります。

部品交換

エアフィルターユニット

お手入れをしても、汚れが目立つようになったら交換時期です。

交換用フィルターユニット (品番:ET-EMF300) は別売品です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

エアフィルターユニットの交換手順

お願い

- エアフィルターユニットを交換する前に、必ず電源を切ってください。
- 部品交換に際しては、必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所を実施してください。

1) エアフィルターユニットを取り外す

- 「エアフィルターユニットの取り外しかた」(☞ 107 ページ)を参照してください。

2) 別売品の交換用フィルターユニット (品番:ET-EMF300) をプロジェクター本体に取り付ける

- エアフィルターユニットには、上下方向の区別があります。(矢印(右)方向を確認してください)
- 「エアフィルターユニットの取り付けかた」(☞ 108 ページ)を参照してください。

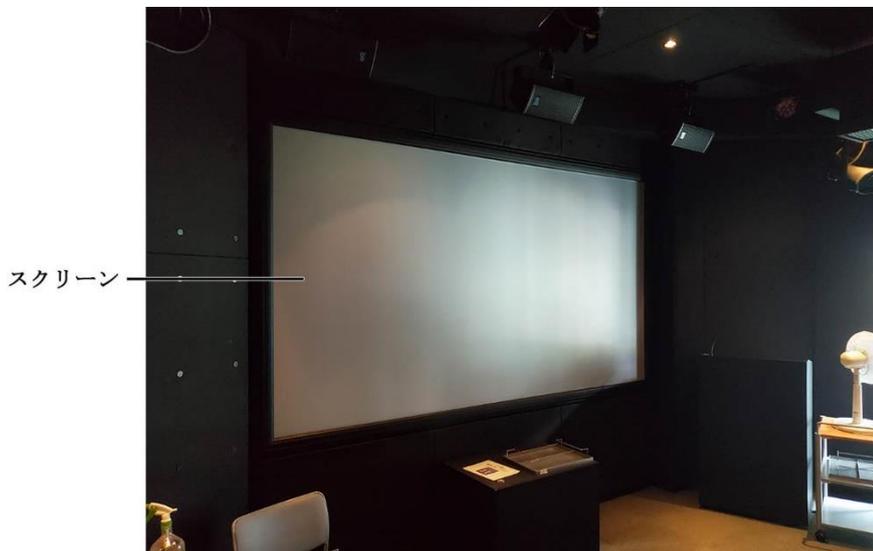
お願い

- プロジェクターの電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。(電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。)

(引用元: プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P108)

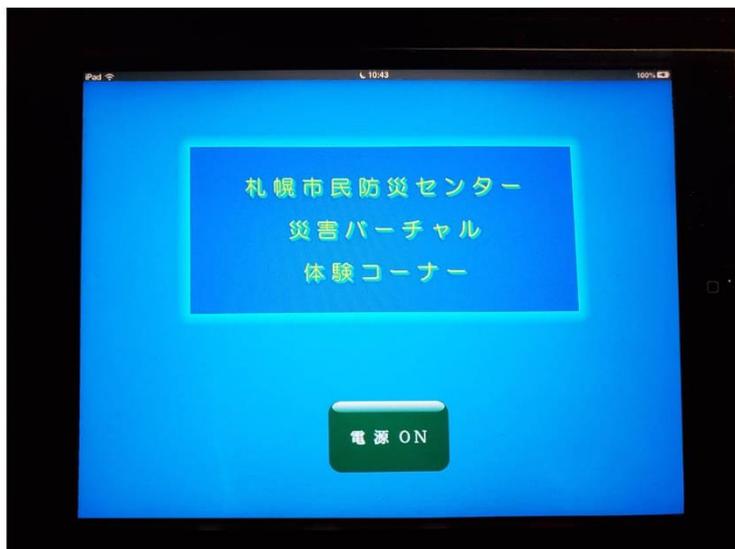
(2) 清掃

- ① 椅子や演台操作盤等が汚れた場合、薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
- ② AV 機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。
- ③ スクリーンは水拭きをすると傷や破れ、映像効果を損なう場合があるため、乾いた柔らかい布等で埃を取り除くこと。



3 その他

- (1) 演台操作盤のタッチパネル(iPad)は常時通電すること。



■ 地震体験コーナー

1 日常点検

- (1) 振動によりネジが緩む、折れることがあるため、起震台装置及び、周辺の確認をする。
- (2) 起震装置を動かしている時に異音がないこと。
- (3) 緊急地震速報用のスマートフォンや体験室内のモニター、ストロボ等の演出に異常がないこと。



- (4) 火災対策機器のランプや表示板及び、配線に異常がないこと。
- (5) 天井等のランプ切れがないこと。

2 メンテナンス

(1) プロジェクター

① インジケータのランプを確認する。



- ア 「LAMP/COVER」が赤色2回点滅している場合は、ランプカバーまたはフィルターカバーがしっかり閉まっているか確認し、再起動をする。
- イ 「LAMP/COVER」が赤色3回点滅している場合は、ランプが高温になっているため、電源を切ってランプを冷ましてから再起動をする。改善されない場合はランプ交換をする。
- ウ 「ON/STANDBY」が赤色2回点滅している場合は、内部の温度が高温になっているため、フィルターの清掃を行う。また、吸排気口が塞がれていないかも確認すること。
- エ 「ON/STANDBY」が赤色6回点滅している場合は、電源コードを抜き、インジケータが消えるのを確認して再度電源を入れる。

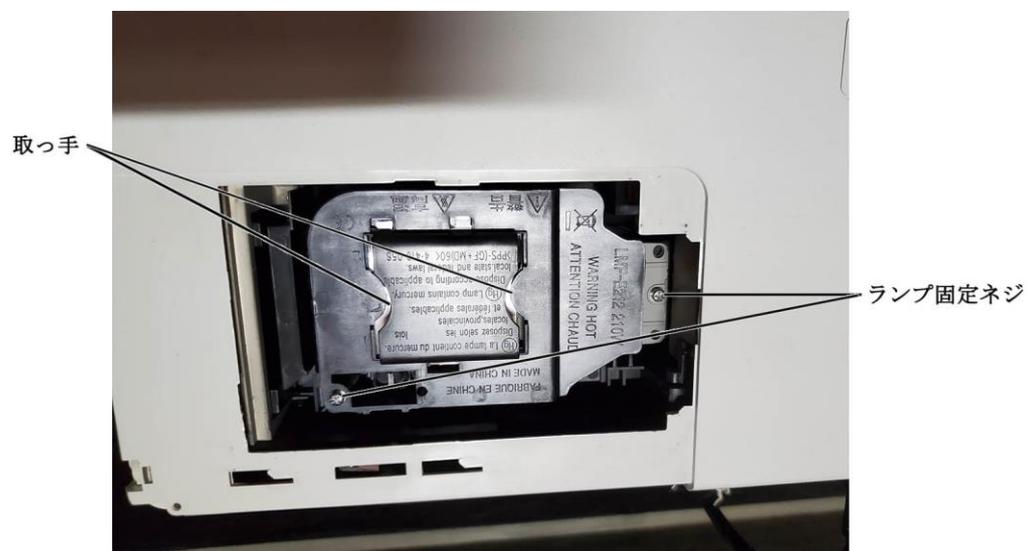
② ランプを交換する。

※ランプユニット交換時期は2,500～3,000時間

ア ランプカバーの固定ネジを取り外す。



イ ランプ固定ネジを取り外し、取っ手を持ってランプを取り出す。



ウ 新しいランプを取り付け、ネジで固定し、ランプカバーを取り付ける。

エ リモコンを操作し、「ランプタイマー初期化」を行う。



③ フィルターを清掃する。

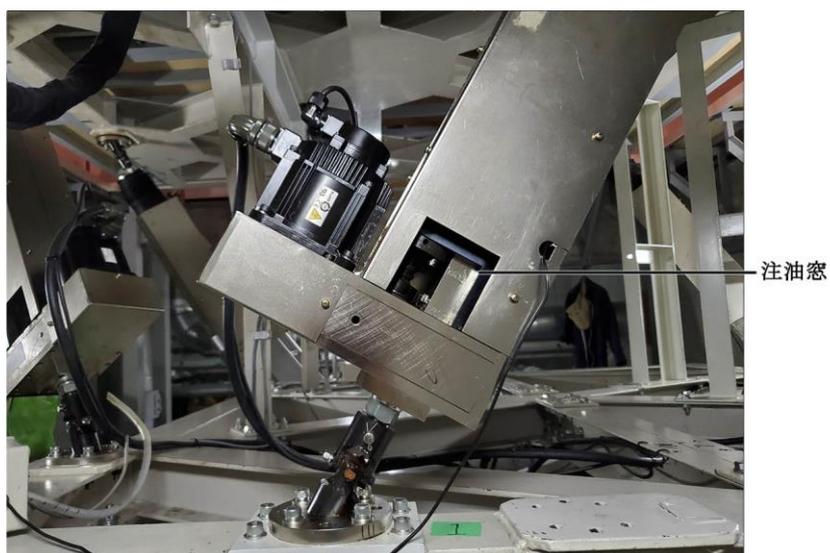
ア フィルターカバーのつまみを持ち、カバーを取り外す。



イ フィルターを取り外し、掃除機等で埃を取り除く。



(2) 各アクチュエーターのグリスアップ



- ① スラストベアリングの周りをきれいに拭き取る。



- ② グリススプレーはスプレー缶を10回以上振る。
【品番：MSDS NASKAGREASE EP スプレー】



- ③ 起震台を止めた状態でスラストベアリングの隙間に金属ノズルを付ける。

スラストベアリングがグリスでうっすら隠れるぐらいスプレーする。



※1つのスラストベアリングに対して必ず二方向からスプレーする。
(オイルガイドがあるものとないものがある)

- ④ 1回目の注油終了後、操作パネルで長周期地震動を選択して起震台を動かす。

※主電源は入れたままにして、2人以上の体制で作業を行う。(1人以上がアクチュエーターに注油、1人は安全上必ず操作パネル前で待機する。)

- ⑤ 起震終了後、2回目の注油をする。

- ⑥ 1か月に2回の頻度でグリスアップを行う。

(3) 清掃

- ① 壁は水性塗料のため、水拭きはしないこと。
埃を払う程度、清掃する。
- ② 火災対策機器やソファ、テーブル等が汚れた場合、薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
- ③ AV 機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。

■ 消火体験コーナー

1 日常点検

- (1) 音声や映像、操作盤のタッチパネル、センサーに異常がないことを確認する。
- (2) 消火器に腐食がないか、ホースのゆるみや亀裂がないか、ネジのゆるみがないか、放水に異常がないことを確認する。
- (3) 屋内消火栓の起動スイッチを押して正常に起動するか、放水に異常がないことを確認する。
- (4) 充填装置やコンプレッサに異音やエア漏れ及び、腐食等の異常がないこと、正常に充填装置が働くことを確認する。
- (5) 天井のランプ切れがないことを確認する。

2 メンテナンス

(1) プロジェクター

- ① ランプ交換は不要。
※ランプの寿命は約 20,000 時間

- ② 吸排気口等の清掃をする。

本機の本体表面、レンズ、吸気口、吸排気口は、定期的にクリーニングしてご使用ください。



重要

本機のクリーニング前には必ず電源プラグをコンセントから抜き、本機を十分に放熱してください。

本機外部のクリーニング

本機外部をクリーニングする際は、柔らかな布を薄い中性洗剤に浸し、固くしぼって拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。

レンズのクリーニング

市販のメガネ拭き用のクロスやクリーニングペーパーなどを使って拭いてください。なおクリーニング時は、レンズに必要以上の力を加えたり、レンズを傷つけたりしないようご注意ください。

吸気口／吸排気口のクリーニング

吸気口／吸排気口にはゴミやほこりがたまりやすいので、下図のように電気掃除機を使い、時々定期的に吸い取ってください。



重要

吸気口／吸排気口にほこりがたまったままご使用になると、本機内部の温度が過度に上昇し、故障の原因となります。

(引用元：プロジェクター「XJ-H1600」 取扱説明書 P39)

(2) 清掃

- ① 排水溝の詰まりを防止するため、こまめにゴミを除去すること。
場合によっては、排水溝・排水管クリーナーを使用して清掃を行う。



- ② 床が汚れた場合は、デッキブラシ等で清掃を行う。
- ③ AV 機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。

3 その他

- (1) センサー保護アクリル板に水がかかった状態ではセンサーが正常に機能しない場合があるため、こまめに水を掃く。
※センサー保護アクリル板を傷つけないようエアコンプレッサのエア等で水を掃くこと。



- (2) プロジェクターとプロジェクター反射鏡を動かすと、映像の焦点がずれるので動かさないよう注意すること。



■ 煙避難体験コーナー

1 日常点検

- (1) スモークマシンから出る煙の量が正常であること。



- (2) スモークマシンや炎演出機器の異音等がないこと。
- (3) 姿勢センサーや人感センサー、ドアセンサーに異常がないこと。
- (4) 疑似エレベーターや姿勢注意の音声の音量等が正常であること。
- (5) 照明のランプ切れがないこと。
- (6) 排煙装置が正常に機能していること。

2 メンテナンス

(1) スモーク液補充及び廃液処理

- ① スモークマシンに設置されているスモーク液の量が減っている場合は、新しいスモーク液を補充する。



※給油チューブが届く位置以上にスモーク液が入っていないと発煙されない。

※スモーク液は吸湿性があるため、ボトルのキャップはしっかり閉めること。

- ② スモークマシンのスモーク液排出口の栓を外し、スモークマシンの操作パネル側に傾け、液受皿内の液を取り出して廃棄し、スモーク液排出口の栓を閉める。

※発煙ボリュームやスイッチに触れてしまうことがあるため、最後に確認をすること。



(2) 清掃

- ① スモークマシンから出る煙により天井や床に水滴がつくことがある。特に床は滑りやすくなるため、こまめに清掃を行うこと。
- ② AV 機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。

3 その他

- (1) 廃液は、布や紙に染み込ませて可燃ごみとして廃棄するか、容器で保管し、産業廃棄物として廃棄する。

■ 暴風体験コーナー

1 日常点検

- (1) 送風機に異音や振動、異臭のないこと。
- (2) 操作盤のスイッチの機能等が正常であること。
- (3) AV設備のマイクやスピーカーの音量調節、プロジェクターの位置やインジケーター等の確認をする。
- (4) 3D映像が保持されているかを確認する。
- (5) 照明類はランプ切れがないこと。
- (6) 扉や手すりのたてつけ、フィルター、3Dメガネ、床材の剥がれ等の目視及び触手による確認をする。

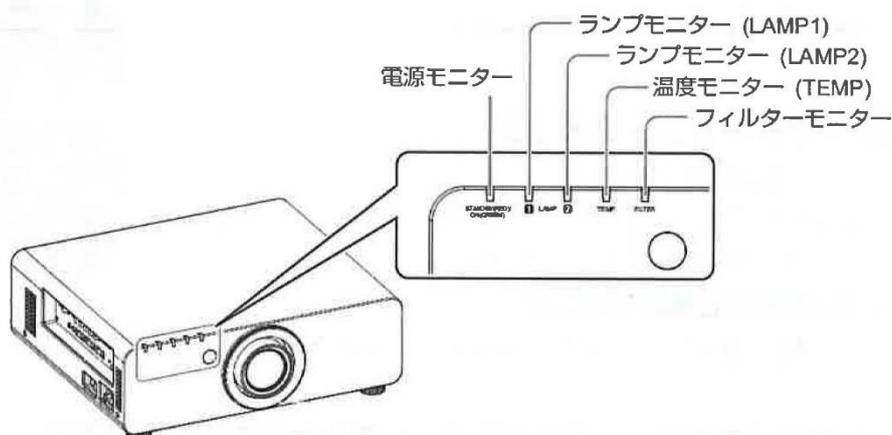
2 メンテナンス

(1) プロジェクター

① インジケータを確認する。

お願い:

- 処置を行う際に電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(P18 ページ)



■ ランプモニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	● 本機の電源を入れたときに「ランプ交換してください。」という表示が出ませんでしたか。	● ランプユニットの使用時間が1 800 時間*1 (ランプ出力「高」設定時*2) に達すると点灯します。 ● ランプユニットの交換を実施してください。
赤色点滅 (1 回)	ランプユニットが装着されていない	● ランプユニットが装着されているかご確認ください。	● ランプユニットが装着されていない場合は、ランプユニットを装着してください。 ● ランプユニットが装着されているのに赤色点滅をしている場合は、販売店にご相談ください。
赤色点滅 (3 回)	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している	● 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。 ● ランプ回路に異常が発生しています。 ● 電源電圧が変動 (低下) していませんか。	● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 ● 19 ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ:

- 上記の処置をしても「ランプモニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

* 1 : PT-D5000 では 2 800 時間になります。

* 2 : PT-DZ6710/PT-DZ6700/PT-DW6300/PT-D6000 のみ。

(引用元: プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P28)

■温度モニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	ウォームアップ状態	● 気温が低い (0℃ 付近) 状態で電源を「入」にしませんでしたか。	● このままの状態でも5分ほどお待ちください。 ● 周囲温度0℃～45℃の場所に設置してください。
	内部が高温になっている (警告)	● 通風孔がふさがれていませんか。 ● 気温の高い所で使用していませんか。	● 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 ● 周囲温度0℃～45℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。
赤色点滅 (1回)	フィルターがめづまりしている	● フィルターモニターが点灯していませんか。	● 16ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、ACFユニットを交換してください。
赤色点滅 (2回)	内部が高温になっている (スタンバイ状態)		
赤色点滅 (3回)	ファンが止まっている	-	● 16ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ：

- 上記の処置をしても「温度モニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

■フィルターモニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	フィルターが全て巻き取られ、新しい面がありません	● 「プロジェクターセットアップ」の「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。	● ACFユニットを交換してください。
赤色点滅	ACFユニットが装着されていません	● ACFユニット収納部をご確認ください。	● ACFユニットを装着してください。
オレンジ色点灯	ACFの新しい面が残りわずかです セット使用残り約200時間です	● 「プロジェクターセットアップ」の「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。	● 新しいACFユニットをご用意ください。
オレンジ色点滅	ACFユニットが正しく動作していません	● フィルターに異物がはさまっていないかご確認ください。	● 異物がある場合は取り除いてください。 ● 異物が見られない場合は、販売店にご相談ください。

お知らせ：

- 上記の処置をしても「フィルターモニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 電源オン時にACFユニットが装着されていない場合、「フィルターモニター」が赤色点滅し、電源が切れます。
- フィルターが巻き取られている間は、緑色点滅します。
- フィルターが巻き取られているときに、動作音が聞こえることがあります。
- オレンジ色点灯開始後、上記のセットで使用可能な残り時間は目安であり、ほこりの多い環境では短くなる場合があります。お早めに新しいACFユニットをご用意ください。
- 海拔1400m以上で「高地モード」の設定を「オフ」で使用した場合、寿命が短くなります。
- ACFユニットが正しく動作しない場合、「フィルターモニター」がオレンジ色に点滅する前に、ACFユニット部分からフィルター巻き取り機構のクラッチの動作音がすることがあります。

(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P29)

② ランプを交換する。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。『機能説明書』（付属 CD）の「プロジェクターセットアップ」についての「ステータス」でランプの使用時間を確認し、定期的に変換を行ってください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。
また、ランプユニット（品番：ET-LAD60（1 灯）、ET-LAD60W（2 灯））ご購入の際は、販売店にご相談ください。



警告

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う



カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

ランプユニットは必ず 2 ユニット装着する

■ ランプユニットの交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品です、堅い物に当てたり落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- 取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お願い：

- 指定のランプ以外は使用しないでください。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過とともに、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 000 時間^{*1}ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000 時間^{*1}に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。2 000 時間^{*1}を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因となるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
1 800 時間 ^{*2} 以降	30 秒間表示されます。30 秒以内にいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000 時間 ^{*1} 以降	いずれかのボタンを押さない限り、表示は消えません。	

お知らせ：

- 2 000 時間^{*1}は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については 41 ページの「保証とアフターサービス」をご覧ください。

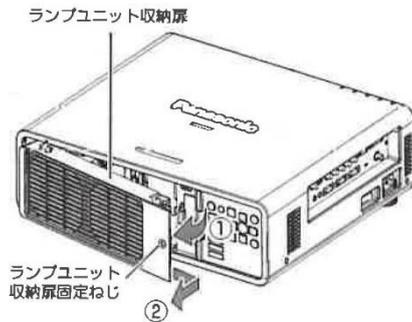
（引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P31）

■ランプユニットの交換手順

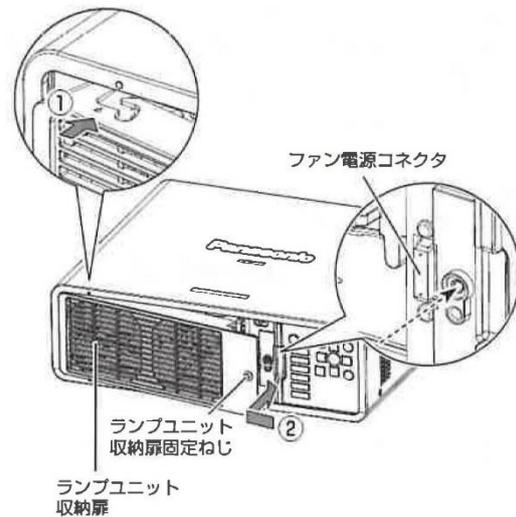
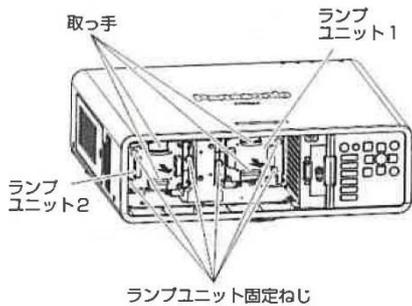
お願い：

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。ランプユニットの取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

- 1) 「電源を切る」(P.18 ページ) の手順を守り、主電源スイッチを切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する
- 2) ①ランプユニット収納扉固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、「ランプユニット収納扉」を矢印方向に開く
②「ランプユニット収納扉」をしっかりと保持し、操作ボタン側にスライドさせた後、セット後方に引き出し取り外す
- 3) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーで外し、取っ手をつまんで「ランプユニット」を取り出す
- 4) 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む
- 5) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーでしっかりと締め付ける
- 6) ①「ランプユニット収納扉」を○と△の印にあわせて取り付ける
②「ランプユニット収納扉」を矢印のようにスライドさせ前方にはめ込んだ後、ランプユニット収納扉固定ねじでしっかりと締め付ける
 - ファン電源コネクタにランプユニット収納扉側のコネクタがしっかりと差し込まれるように取り付ける



- 3) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーで外し、取っ手をつまんで「ランプユニット」を取り出す

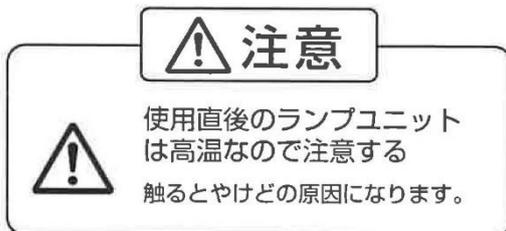


お願い：

- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

お知らせ：

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。



(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P32)

- ③ フィルターを交換する。

部品交換の前に

- 部品交換を行うときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。(P.16、18 ページ)
- 電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(P.18 ページ)

部品交換

■ ACF (オートクリーニングフィルター) ユニット

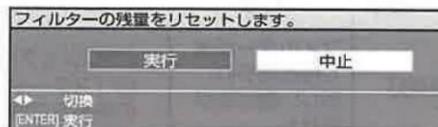
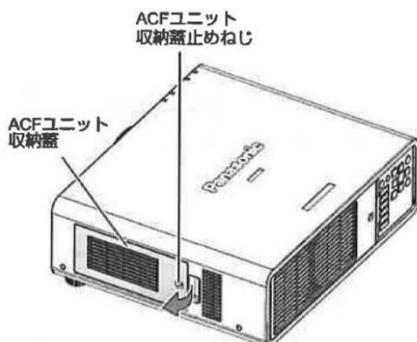
ACF ユニットは交換部品 (別売り) です。ACF ユニットは巻き取り方式を採用しており、自動的に汚れた面を巻き取ります。

『機能説明書』(付属 CD) の「プロジェクターセットアップ」についての「ステータス」でフィルターの残量の確認を行い、フィルターの残量が少なくなってきたら、交換用の ACF ユニットをご用意ください。

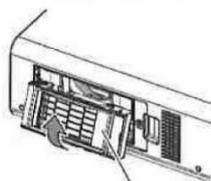
- ACF ユニット (品番: ET-ACF100 (サービス部品扱い)) をご購入の際は、販売店にご相談ください。

■ ACF ユニットの交換手順

- 1) 主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
- 2) 「ACF ユニット収納蓋止めねじ」(1 本)を外し、「ACF ユニット収納蓋」を取り外す
- 5) 「ACF ユニット収納蓋」を取り付け、「ACF ユニット収納蓋止めねじ」(1 本)でしっかりと締め付ける
- 6) 「ACF ユニット」交換後、『機能説明書』(付属 CD) の「プロジェクターセットアップ」についての「フィルター残量リセット」を選択しエンター (ENTER) ボタンを押す



- 3) プロジェクター本体から「ACF ユニット」を取り外す



ACFユニット

- 「ACF ユニット」を取り出したあとに、ACF ユニット収納部及び本体側吸気孔に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。
- 4) 新しい「ACF ユニット」をプロジェクター本体にしっかりと押し込む

- 7) ◀▶ ボタンで「実行」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す
 - フィルターの残量がリセットされます。

お知らせ:

- ACF ユニットは必ず取り付けてご使用ください。ACF ユニットが装着されていない場合、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となるため電源が切れます。
- ACF ユニットの交換時期は、使用環境により異なります。
- ACF ユニットは必ず未使用品と交換してください。

(引用元: プロジェクター「PT-DW6300」取扱説明書 P30)

※プロジェクターBOX 内で作業を行うときは、必ずファンの電源プラグを抜き、ファンの停止を確認してから行うこと。

(2) 清掃

- ① 体験室内外の壁はボード素地や水性塗料のため、水拭きはしないこと。埃を払う程度、清掃する。
- ② ドアや正面メンテ扉、体験カメラ映像用モニター、風速表示、手すり、操作卓等が汚れた場合、薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
※ドアを強くこすると表面の塗装が剥がれるため注意すること。



- ③ AV 機器周辺や制御盤の吸排気口に埃が見られる場合は、掃除機等で取り除くこと。

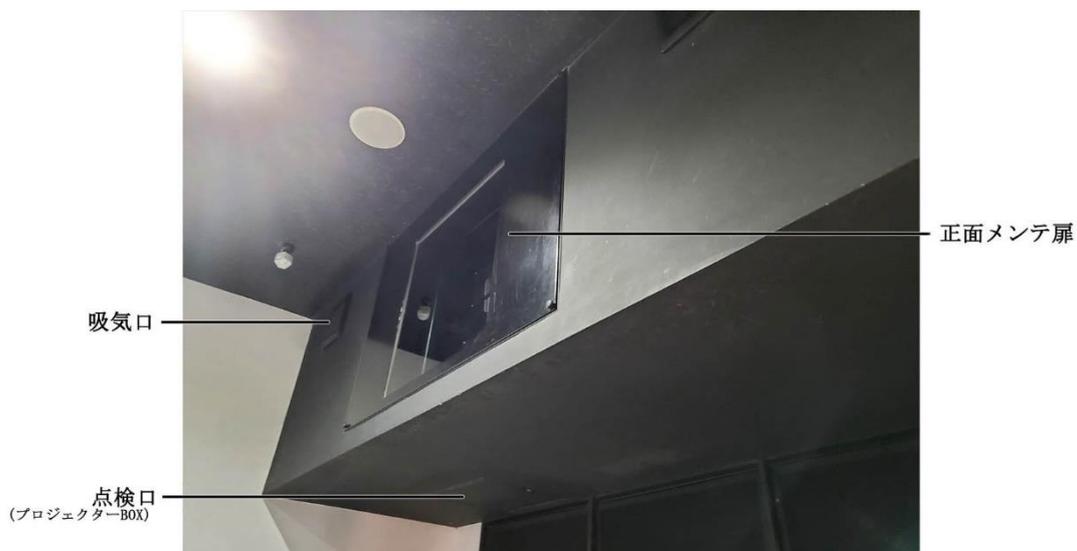
※PA ルーム(制御盤のある部屋)は、埃を嫌う機器が多く、埃が多いと故障の原因となるため、定期的(週に1回程度)の清掃を行うこと。



- ④ 点検口よりプロジェクターBOX 内の清掃を月に1度行うこと。

必要に応じて正面メンテ扉を開けて清掃を行う。

※正面メンテ扉は4か所ローレットを外し、取り外すことが可能。
スチール製で重く、設置位置が高いため、必ず2名以上で行うこと。



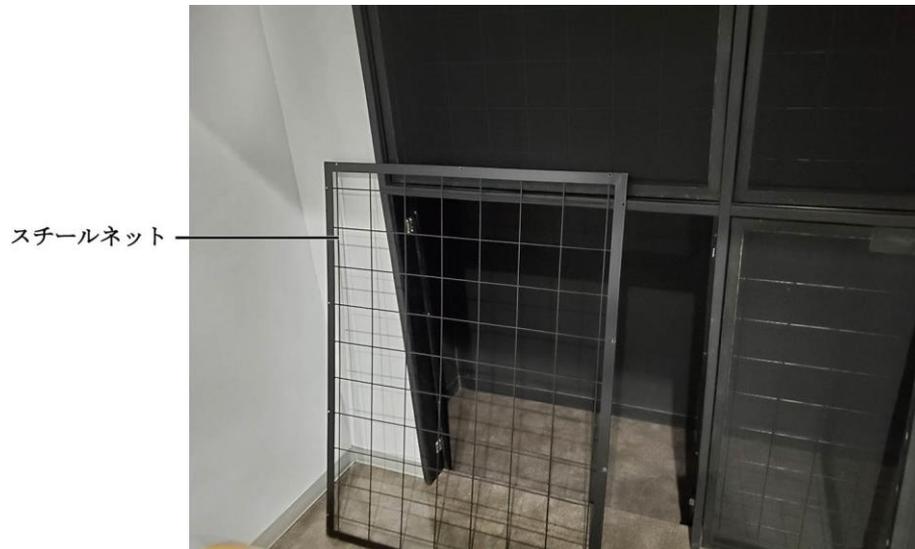


- ⑤ 体験室内は暴風によりごみが飛ばされる危険性があるため、床面や吸気口フィルターは掃除機や粘着テープ等でこまめに清掃すること。



※吸気口フィルターがごみや埃等により目詰まりした状態での稼働は、装置に余分な負荷を与え、装置が故障したり、寿命が短くなる。

- ⑥ 吸気口裏側の清掃を行う場合は、正面左下の吸気口フィルターを取り外し、四方フレームに9か所ビス止めしているスチールネットを取り外す。



- ⑦ スクリーンは水拭きをすると傷や破れ、映像効果を損なう場合があるため、乾いた柔らかい布等で埃を取り除くこと。



- ⑧ 屋上面はモップ等で埃を取り除くこと。
※中央部分は強度が弱いため注意すること。



3 その他

- (1) 制御盤の吸排気口をふさぐと装置の故障につながるため、制御盤の前に荷物等は置かず、広く開けること。

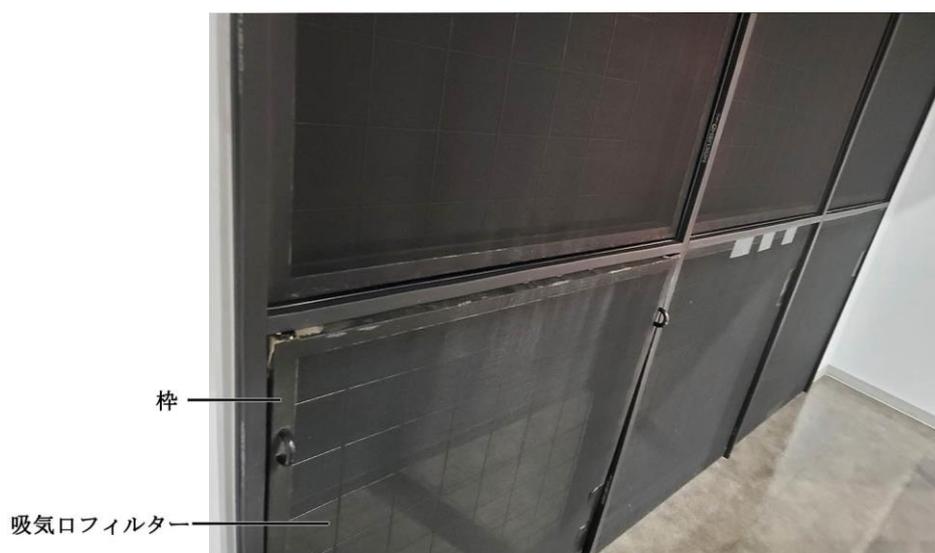


※制御盤は通常運用時には操作する必要はない。感電する危険があるため、通常は必ず施錠し、むやみに扉を開けないこと。装置の異常が考えられる場合はメンテナンス業者(有資格者)により点検を行うこと。

- (2) プロジェクターBOX 内で作業するときは、プロジェクターを動かさないよう注意すること。
- (3) レザーカバーはマジックテープで止めているため補修や交換が可能。
【品番：サンゲツ コントラクトレザー UP6807 ※特注製作品】



- (4) 吸気口フィルターは木製枠に巻込んで張り、枠側面にタッカー止めをしている。張り替える場合はタッカーを抜いて同様に張り替えること。
【品番：旭化成 サラン®ネット スクリーン B-24】



■ 救急体験コーナー

1 日常点検

- (1) 映像やスイッチに異常がないかを確認する。
- (2) AED の電池切れ等異常がないかを確認する。
- (3) ランプ切れがないかを確認する。

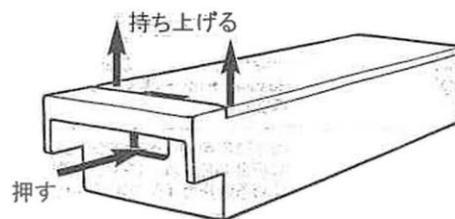
2 メンテナンス

(1) AED の電池交換

バッテリーの交換

バッテリーケースをAEDトレーナ2に取り付けるには、バッテリーケースの上ふたをスライドさせます。このとき、バッテリーケースのラベルが上向きになるようにします。正しく挿入されるとバッテリーケースは所定の位置に固定され、AEDトレーナ2は自動的に電源が入り、「セットアップ」モードになります。バッテリーのパワーが低下すると、AEDトレーナ2の電源投入時に「バッテリーが低下しています」という音声メッセージが流れます。このメッセージが流れたら、バッテリーを次のように交換して下さい。

1. バッテリーケースを取り外します。2個のロックが解除されるまで、バッテリーケースハンドルを持ち上げ、AEDトレーナ2からバッテリーケースを取り外します。
2. アルカリ電池を交換します。バッテリートレイから上ふたを外します。(イラストを参照して下さい)。
3. 古い電池を取り外し、新しい単2アルカリ電池を入れます。必ずバッテリーケースの内側に表示された向きに従って電池をセットして下さい。
4. ふたを元の位置に戻し、バッテリートレイをAEDトレーナ2に再挿入します。



(引用元：訓練用 AED 「Laerdal AED Trainer 2」 取扱説明書 P5)

(2) 清掃

- ① AV 機器付近の埃や床を掃除機等で清掃する。
- ② AED やレサシアンに汚れがついた場合は、薄めた中性洗剤を染み込ませ柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。

■ はしご車に乗ってみよう

1 日常点検

- (1) 無線機の交信音やクラクション、サイレン等音響システムに異常がないかを確認する。
- (2) パトライトが正常に点灯するかを確認する。
- (3) ペダルやスイッチ、レバー等各設備に異常がないかを確認する。



2 メンテナンス

- (1) 清掃
 - ① はしご車内外の埃をモップ等で取り除く。
 - ② 汚れがついた場合は、薄めた中性洗剤を染み込ませ柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
 - ③ AV 機器周辺に埃が見られる場合は、掃除機等で取り除くこと。